

地域とともに安全・安心な雄物川・子吉川を目指して

国土交通省 東北地方整備局
秋田河川国道事務所 所長 尾崎 精一



1. はじめに

秋田河川国道事務所(以下、当事務所)では、秋田市を中心とした「秋田地区」、由利本荘市・にかほ市からなる「本荘由利地区」、仙北市と大仙市の一部からなる「仙北地区」を対象として、雄物川下流・子吉川の河川整備・管理の他、国道7号・13号・46号及び日本海沿岸東北自動車道の改築・管理も行っています。

2. 雄物川下流・子吉川の特徴

○雄物川下流

雄物川は、その源を秋田・山形県境の大仙山(標高920m)に発し、緩勾配である下流部の秋田市新屋で旧雄物川を分派し、本川は放水路を経て日本海、旧雄物川は秋田港を経て日本海に注ぎます。下流部には秋田県の県庁所在地である秋田市が広がります。

○子吉川

子吉川は、その源を秋田・山形県境の鳥海山(標高2,236m)に発し、上流部は勾配が急で、中流部～下流部に

かけて急激に緩やかとなります。そのため短時間で下流へ流下し、中流部で水位が上昇しやすい特徴があります。下流部には由利本荘市街地が広がり、人口と資産が集中しています。

3. 秋田地区河川防災ステーション整備(雄物川下流)

雄物川流域では、平成29年7月、平成30年5月、秋田市では特に令和5年7月に家屋等の浸水被害を伴う洪水が立て続けに発生していることから、秋田県・秋田市・国の3者で『古川流域の総合的な治水対策協議会』を設立し、総合的な治水対策に取り組んでいます。その一環として整備中の秋田地区河川防

災ステーションは、これらの洪水被害を最小限とするための緊急用資材の備蓄、緊急車両基地や秋田市の水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点として期待されます。



令和5年7月洪水浸水状況

4. 子吉川直轄河川災害復旧事業

令和6年7月25日からの大雨により、子吉川及び石沢川において、7箇所（直轄では2箇所）で堤防が決壊した他、堤防の法崩れ、護岸損傷等が14箇所が発生しました。これら被災した河川管理施設の災害復旧工事を実施中であり、地域の復旧・復興、安全・安心の確保に貢献します。

5. 子吉川水系流域治水プロジェクト2.0

子吉川水系では上流部が急勾配であり急激な水位上昇が生じる地形特性を考慮し、河川整備に併せて、民間企業と連携した水害に強いまちづくりや迅速な情報提供などの対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施しています。これにより国管理区間においては、気候変動を考慮した洪水が流下する場合においても、現行の治水安全度を確保し、洪水による災害の防止・軽減を図ります。

6. おわりに

当事務所では、安全・安心な地域、さらなる発展した社会を目指すため、河川・道路の事業推進や災害対応の他、建設生産性向上やインフラの維持管理などの課題にも引き続き取り組み、住民の皆様や関係機関の方々、地域の守り手である建設業・建設関連業の皆様と協力・協働で施策・事業を進めてまいります。

